

「ソフトマテリアルによる振動低減技術（制振・防振・免震）の基礎から応用」

主催 一般社団法人日本ゴム協会関東支部

協賛 高分子学会・自動車技術会・繊維学会・日本接着学会・日本トライボロジー学会・日本表面真空学会・

(予定) プラスチック成形加工学会

振動の多くは、望まれない現象であり、快適な環境や使用条件、製品の長寿命化などの面から、振動対策は重要な技術です。振動対策には、制振、防振、免震があり、それらを実現する上でソフトマテリアルは、中心的な役割を示します。振動低減の高い効果を得るためには、これらの基本を理解し、材料・製品設計を行う必要があります。そこで今回は、振動対策技術である、制振、防振、免震の基礎から応用までをご講演いただきます。

万障お繰り合わせのうえ、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

日時 2019年11月18日(月)・19日(火) 10:30~16:40 (19日は10:00開始)

会場 東部ビル 5階会議室(東京都港区元赤坂1-5-26 TEL. 03-3401-2957)

定員 70名(参加ご希望の方はお早めにお申し込みください)

受講料 会員・協賛団体会員 33,000円, 学生会員 無料, 会員外 49,500円(税込)

一度ご納入いただきました受講料は返金いたしかねますのでご了承ください。賛助会員は2名まで会員扱いです。

申込方法 HP(<http://www.srij.or.jp>)からのお申し込みができます。また、下記申込書に所定事項を明記のうえ、10月31日(木)までに下記あてお申し込みください。

送金方法 銀行振込(三井住友銀行日比谷支店(普) No. 3231980 一般社団法人日本ゴム協会関東支部)で開催日までに振込願います(振込手数料は受講者側でご負担ください)。請求書が必要な場合は申込書にご記入ください。

申込先 〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-26 東部ビル (一社)日本ゴム協会関東支部 秋期ゴム技術講習会係  
TEL. 03-3401-2957 FAX. 03-3401-4143 E-mail:kanto@srij.or.jp

日 時	演 題	講 師
11月18日(月)		
10:30~11:40	「粘弾性の基礎」	東京工業大学 赤坂 修一 氏 過去に年次大会にて発表した「今さら聞けない粘弾性」の内容を中心に、粘弾性の基礎について講演する。
12:40~13:50	「制振の基礎」	三井化学株式会社 中島 友則 氏 振動低減技術である制振の基礎を説明し、また新規熱可塑性ポリオレフィンの制振材料への展開等を紹介する。
14:05~15:15	「防振の基礎と応用事例」	NOK株式会社 森田 哲司 氏 振動低減のための基礎的な防振理論、必要な検討内容等について説明すると共に、理論を応用した防振製品による振動低減事例を紹介する。
15:30~16:40	「配合とゴム物性 ～音、振動をテーマとして～」	一般財団法人化学物質評価研究機構 隠塚 裕之 氏 ゴムは輸送機器、電子機器等の振動吸収材として、重要な役割を担っている。ゴム材の吸音、防振等の特性は、原料ゴムに依存するが、配合からも性能を変化させることが可能である。配合と特性について事例を交えて話す。
11月19日(火)		
10:00~11:10	「免震の考え方と積層ゴムの構造・原理・特性・耐久性について」	SID 芳澤 利和 氏 近年、免震建物も安全・安心を守る建物としてようやく定着してきた。本講演では、免震の基本的な考え方と、これを支える積層ゴム支承の原理、特性、耐久性についてその基本を紹介する。
11:25~12:35	「免震用積層ゴムの技術動向」	株式会社ブリヂストン 鈴木 重信 氏 建築免震用積層ゴムの最近の技術動向について、新しい課題やそれに対する取り組みなどの応用面を中心に紹介する。
13:35~14:45	「自動車用防振ゴム」	鬼怒川ゴム工業株式会社 宇都木 宏之 氏 自動車の走る・曲がる・止まるを支える防振ゴム商品について、その特性およびゴム材料を中心に、概要を解説する。
15:00~16:10	「シリコーンゴムの基礎と振動関連技術」	戸知技術研究所 戸知 光喜 氏 シリコーンゴムはその基礎原料であるメチルクロロシランの工業生産が始まってから約80年の歴史を持つ。シリコーンゴムの需要と用途の拡大は常に継続しており、近年その独特の特性である柔軟性、耐候性、耐寒性などが更に注目されている。シリコーンゴムの基礎とその応用の一つである振動関連の技術について紹介する。

※プログラムは変更になる場合もございますので、あらかじめご了承ください。

関東支部・第60回秋期ゴム技術講習会申込書 (FAX、E-Mailでも送信可能です)

(<http://www.srij.or.jp> よりお申込みください)

申 込 者	(会社名) _____ (担当者) _____ (所属) _____
	(住所) 〒 _____
	TEL. ( ) FAX. ( ) E-mail: _____
受 講 者	(氏名) _____ 所属部課 _____ 役職名 _____
	_____

※上記のとおり, \_\_\_\_月\_\_\_\_日, 受講者\_\_\_\_名, 計\_\_\_\_円を送金予定. 請求書 要 ・ 不要